

光星センバツ出場決定

2年ぶり12度目 頂点へ闘志

第98回選抜高校野球大会（3月19日から13日間・甲子園）の出場32校を決める選考委員会が30日、大阪市の毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれ、東北地区の一般枠で八戸学院光星が選ばれた。同校のセンバツ出場は2年ぶり12度目。

【90分】関連記事

東北地区に与えられた出場校の一般枠は3。昨年の秋季東北大会で準優勝だった八学光星の出場は有力とみられていた。

部員ら約70人は同日、校内に設置したスクリーンで、出場校発表のライブ配信を見守った。校名が読み上げられると、真剣な表情で選考理由の説明に耳を傾け、悲願の頂点に向けて闘志を燃やしていた。

決定後の取材に仲井宗基監督は「ほっとしている。一戦必勝で頑張りたい」と抱負。北口晃大主将は「選

んでもらえてすこうれい。青森県や東北の代表として、全国制覇できるように戦いたい」と意気込みを披露した。

東北地区の一般枠ではこのほか、昨秋の東北大会で

優勝した花巻東（岩手）と東北（宮城）が選ばれた。補欠校は聖光学院（福島）と工大一だった。

組み合わせ抽選会は3月6日に大阪市で行われる。（千葉達也）



センバツ出場を決め、喜ぶ八学光星高の選手
11月30日、同校